

2008-09 のトレンドの主流は「METALLIC」と「STRUCTURE」 Report 杉山

ミニマリズムとラグジュアリーの混沌 → **ニューモダン**
 これまでの気まぐれな装飾性
 ・技術革新—生産地のシフト(経済性)—発展途上国
 「欧州周辺国(特にトルコ)」
 —テキスタイルの広中化(3m超)
 —高速化、均質化、フラット化、画一的、無機的
 ・匠の技術—手仕事、感性豊かなファブリック
 ・手触り感や外観(表面感)＝「光りと蔭」はインテリア空間に豊かさをもたらす
 ・気まぐれな素材のミックス
 ・高密度、メタリック→ハリ、コシ感強

METALLIC (あらゆる光沢感)	STRUCTURE (新しい立体感)
<ul style="list-style-type: none"> ・輝かしい光沢感(金属的光り) 金、銀、銅などメタリックヤーン使い ・ぬめぬめした光沢感 エナメル、ビニール、フィルム、コーティング、漆、ラバー加工、プラスチック、樹脂 ・キラキラした輝き ラメ糸使いのエンブ、ミラーワーク、スワロフスキークー、スパンコール ↓ おさえた光沢感へ ・上質な品のある光沢感 超細番手高密度織物、サテン、ダマスク、シルクシャンタン、シャンプレー、玉虫効果レーヨン、シルクベルベット ・透明感の中の輝き 合繊、分繊糸使い、異形断面糸使いのボイル、シアー、パチストなど ・渋く押さえた光沢感 錆た感じのメタリックヤーン、渋金・銀、黄銅、アルミなど ・光沢感と他の組み合わせ 寝装＝表地にダグ、裏地は光沢 下地にメタリック、上生地にレースをボンディングなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・織組織による フクレ、風通組織によるレリーフ感にシワ感もモケット、ベルベットのオパール、フロッキー ・後加工による立体感 メタリック素材のキルティング、スモッキング ・織たたみによる立体感 折紙調、タック織り、プリーツ加工、ピンタック、スモッキング ・シワによる立体感と手触り感 小～大様々なシワ、糸使い、織りの自然なシワ織組織、塩縮加工、エンブによるパターン化されたシワ ・レーザーカットによる立体感 ・フロントカットによる立体感とテクスチャー ウロコ状の表現 ・高級感のある毛足の長いもの 超太番手シャギー、毛足の長い高級獣毛 ラメ糸入りの細番手シャギー ・ステッチキルト、コードエンブによるテクスチャー ・調太番手使い、ラスチック感 ウールのループ織り、ラグのようなハイ&ロー麻の太番手のラスチックな織物+箔プリントなど

以上の二つの要素を兼持つテキスタイルがトレンド

Heimtextil 2008-09 TREND-FORUM

